

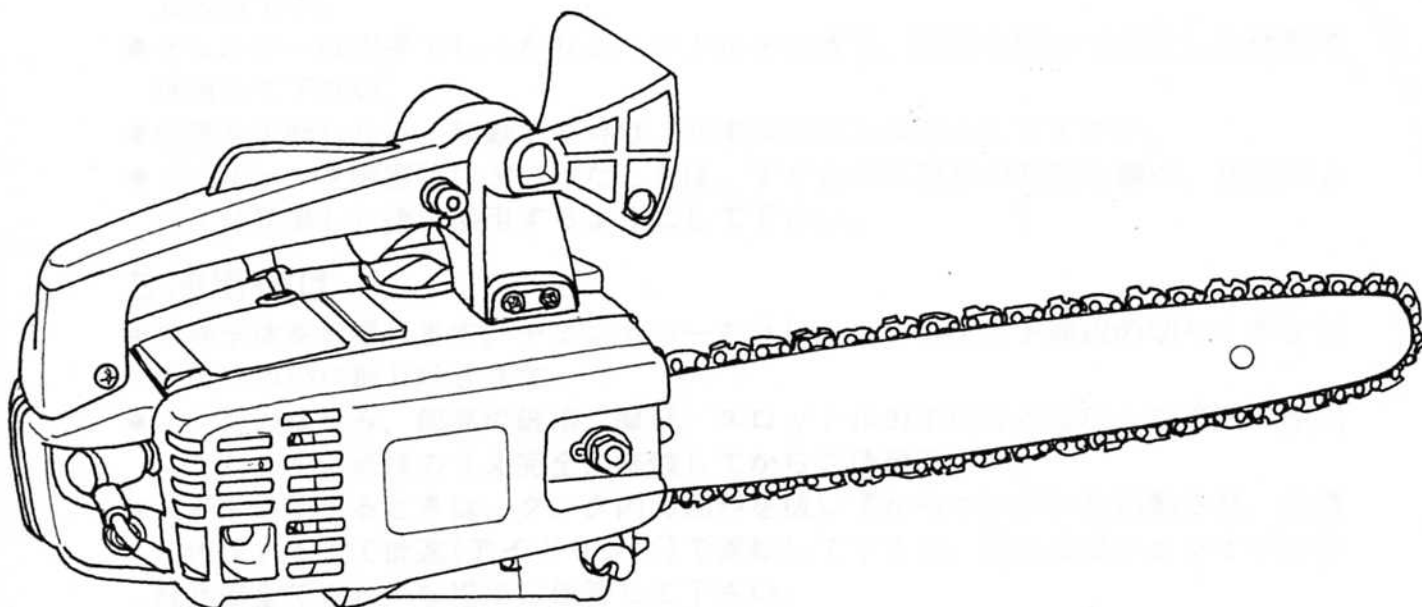
RYOBI®

エンジンチェンソー

ES-2935

取扱説明書

-
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
そのあと大切に保管いただき、わからないときは、再度お読み下さい。



-
- 改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

■安全に注意して、正しくご使用いただくために……………

ご使用の前に

- 服装はすそじまりをよくし、目、耳、足の防護具を使用して、滑り止めの付いた軍手か厚手の作業用手袋をはめて下さい。
- 行政機関では一日のチェーンソーの使用時間は2時間以内、連続操作時間は10分間以内にするよう指導しています。作業時間の組合せを上手に計画して下さい。
- 説明書をよくお読み下さい。小さなお子様や、正しく操作のできない人の運転はしないで下さい。
- 機械はいつもきれいにしておきましょう。特に燃料タンク・オイルタンクのまわりはよく拭いて下さい。
- 伐倒や玉切りの基本をよく理解して安全作業を心がけて下さい。(本文参照)

燃料について

- 燃料は引火しやすいので注意して取扱って下さい。
- 燃料補給の際には、絶対にタバコを吸ったり、火気を近づけたりしないで下さい。
- 補給は必ずエンジンを停止し、冷えてから行なって下さい。
- 補給の際、こぼれた燃料は必ず拭き取って下さい。
- 燃料は混合ガソリンです。無鉛ガソリン「20～25」に対し、2サイクルエンジンオイル「1」の割合いで混合して下さい。

ご使用中は

- チェーンソーを始動したり、運転したりする時は周囲に充分注意して必ず一人で(補助者なしで)操作して下さい。
- 回っているソーチェンに手はもちろんのこと、身体や衣服を近づけることは大へん危険です。
- チェーンソーは両手でしっかりとハンドルをにぎり、両足を開いて安定した体勢で使用して下さい。
- 作業を中断したり、移動する時は、必ずエンジンは停止して下さい。
- ソーチェンを障害物にぶつけたときは、すぐ止めて異状の有無を調べ、状況によっては整備した後に使用するようして下さい。

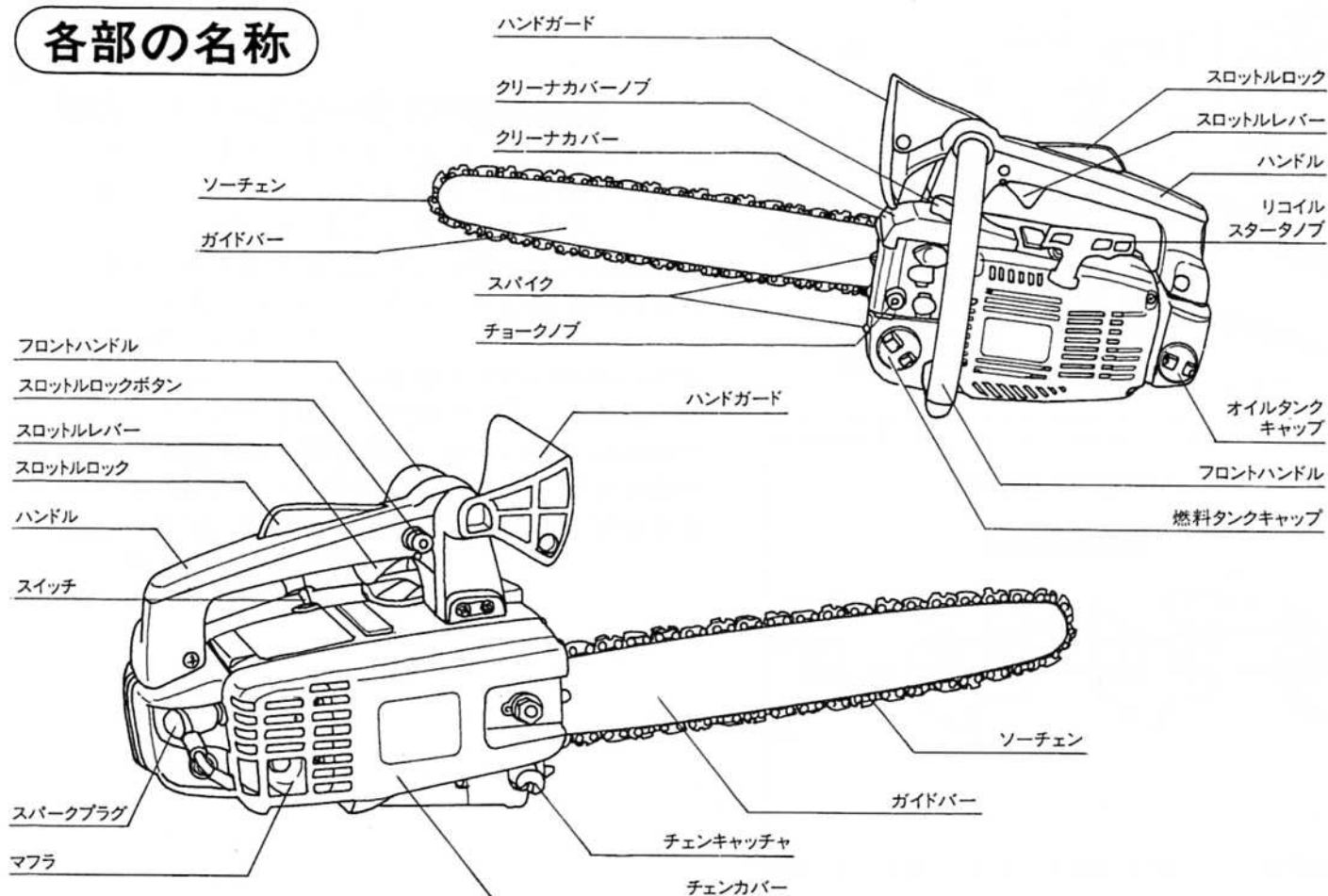
ご使用後は

- 機械全体を清掃します。チェンカバーを外し、スプロケット周辺の切りくずなどをていねいに取り除きます。
- ネジ類のゆるみ、部品の破損、摩耗、スロットルの不調などは色々な障害の原因になります。点検のうえ完全に整備してからご使用下さい。
- 長期間格納するときは、タンク内の燃料を抜いてからエンジンを始動させ、自然に停止するまで低速(アイドリング)で運転して下さい。停止後はチェンオイルを抜き安全できれいな場所に保管して下さい。
- 補用部品はすべて指定の純正部品をご使用下さい。

安全な服装(手袋・すそじまりのよい服・防護眼鏡)・よく整備された機械

出荷時にガイドバーとソーチェンは本機にセットされています。
再組付・調整の際は“使用準備”の項をごらん下さい。

各部の名称



仕 様

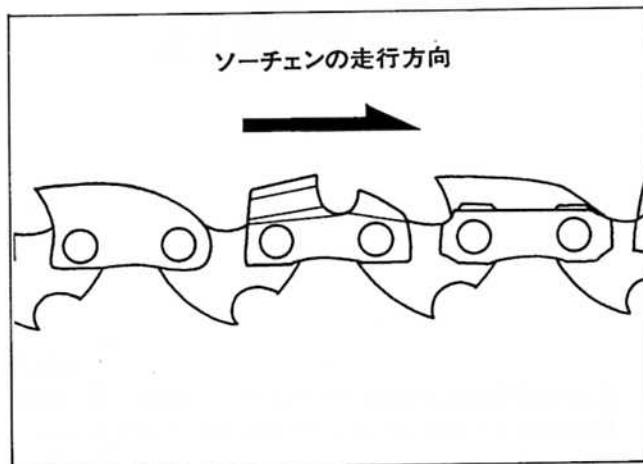
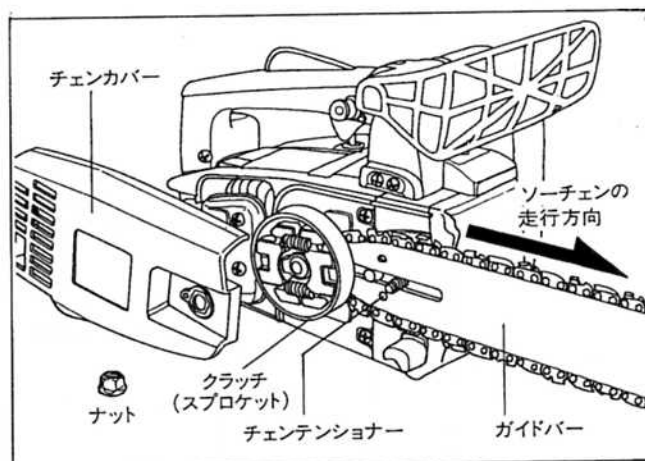
モ デ ル	ES-2935
エ ン ジ ン	空冷2サイクル単シリンダ、28.5cc
キ ャ プ レ タ	ダイヤフラム式
点 火 方 式	フライホイールマグネット：電子点火
点 火 プ ラ グ	チャンピオン CJ-8Y
始動・動力伝達	リコイルスタータ、自動遠心クラッチ
燃料タンク容量	0.22ℓ
燃 料	2サイクル混合ガソリン<無鉛ガソリン20~25：2サイクルエンジンオイル1>
オイルタンク容量	0.13ℓ
チェンオイル	純正チェンオイル又はエンジンオイルSAE No.10W-30
注 油 方 式	自動給油
ソ ー チ ェ ン	オレゴン 3/8" 91SG・ドライブリンク数52
ガ イ ド バ ー	スプロケットノーズバー、有効切断長350mm
機 械 寸 法	全長540×幅225×高さ230mm
重 量	3.59kg

通常付属品：プラグレンチ

使用準備

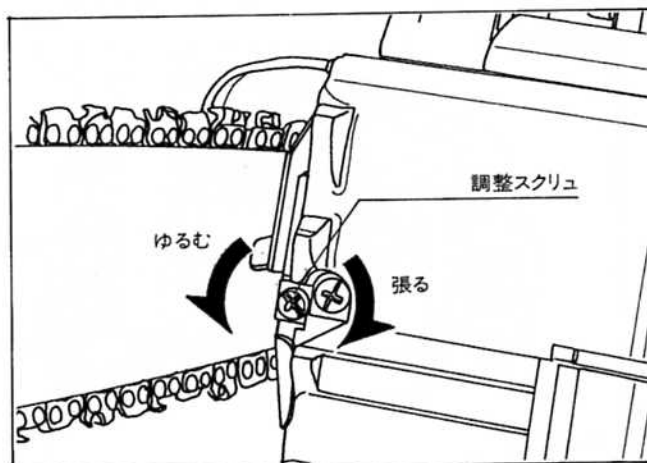
■ガイドバーとソーチェンの組付け

- ナットを外してチェンカバーをとりします。
- ソーチェンが入りやすいように、ガイドバーをスプロケット側によせて入れます。
- ソーチェンは刃の向きに注意してスプロケットの方からはめ、ガイドバーの先端へ向ってはめてゆきます。
- チェンテンショナーをガイドバーの孔にきちんと入れて下さい。(調整スクリュを左右に回して金具の位置を調整します。)チェンカバーをつけ、ナットを軽くしめます。チェンカバー後部にある溝に本体から出ているフックを確実にはめ込んで下さい。



■ソーチェンの張り

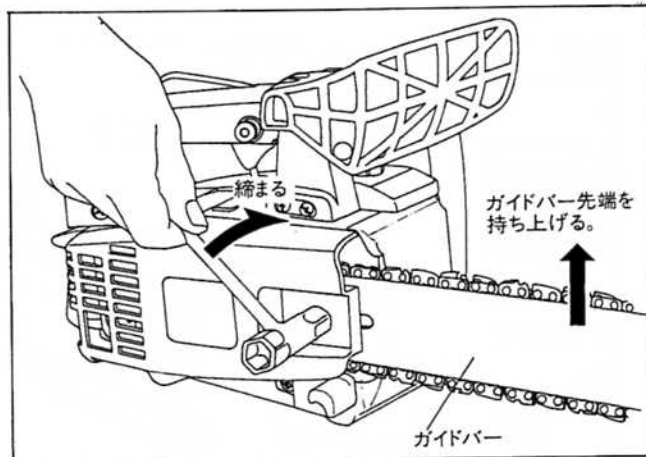
- ソーチェンの張り具合は重要です。張りすぎはガイドバーやソーチェンをいため、ゆるいとソーチェンが外れる原因となります。調整スクリュを時計方向（右回り）に回すとソーチェンは張ります。



- 適正な張りは、ガイドバーの先端を持ち上げてソーチェンの低部がガイドバーに接触する直前です。
- 次にチェンカバーのナットをしっかりと締付けます。(締付けトルク120～150kg・cm) エンジンをかける前にソーチェンを軽く手で持って回ることを確認して下さい。

注意

- 新しいソーチェンは、最初伸びて張りがゆるくなります。
- 使用後30分位してから、ソーチェンの張りを再調整して下さい。



運 転

■燃料とチェンオイル

●燃 料

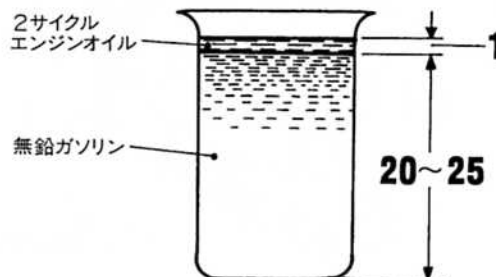
- 無鉛ガソリンと2サイクルエンジンオイルをまぜた混合燃料です。
- 無鉛ガソリン20～25に対し2サイクルエンジンオイルを1の割合で正しく、よく混ぜて混合して下さい。
- 市販の混合容器などを使うと、らくに正しくできます。
- 混合比以外の混合燃料はエンジン故障の原因となりますので使用しないで下さい。

【注意】

- 古い混合燃料はエンジン故障の原因となります。
- 1日に使われる量を計画的に混合されるか、その都度、混合するようにして下さい。
- また保管は木陰など涼しいところに置いて下さい。

●チェンオイル

- 運転中にガイドバーとソーチェンの摩擦を少なくするためにオイルを給油します。
このチェンソーは自動給油方式となっています。
- 使用するチェンオイルは純正チェンオイル「10W-30」又はエンジンオイル SAE No.10W-30 をご使用下さい。



よく混ぜる

【注意】

- 特に寒い地域で、チェンオイルの吐出が少ないときは、チェンオイル10に対して、灯油を1の割合で混合して下さい。
- 燃料を補給するときは、同時に必ずチェンオイルを補給するようにします。

■始 動

周囲に障害物がないことを充分確認して下さい。

- 燃料、チェンオイルをそれぞれのタンクに入れます。

【注意】

- 燃料補給後には燃料タンクキャップをしっかりと閉め、こぼれた燃料は必ずふき取して下さい。

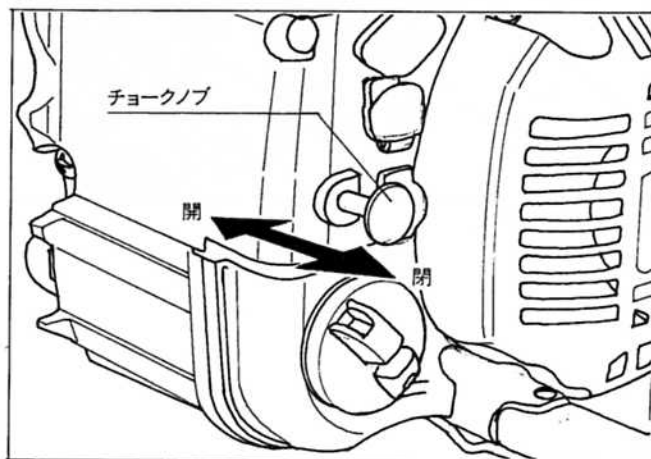
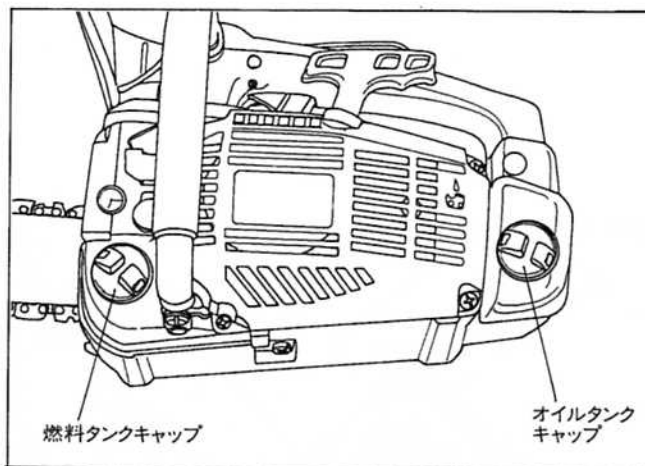
- スイッチを運転の位置(1の表示)にします。



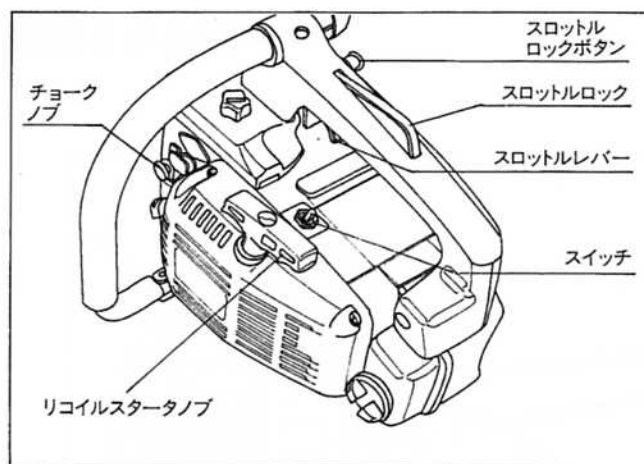
- チョークを閉（チョークノブを引く）にして下さい。

【注意】

- 使用中、エンジンを一時停止させるなどして、エンジンが暖まっている時には、チョークを閉にする必要はありません。ただしコイルスタータノブを5回引いても始動しない場合は、チョークを閉にして下さい。



- スロットルロックを押しながらスロットルレバーを引き、スロットルロックボタンを押し込み、スロットルレバーをロックして下さい。



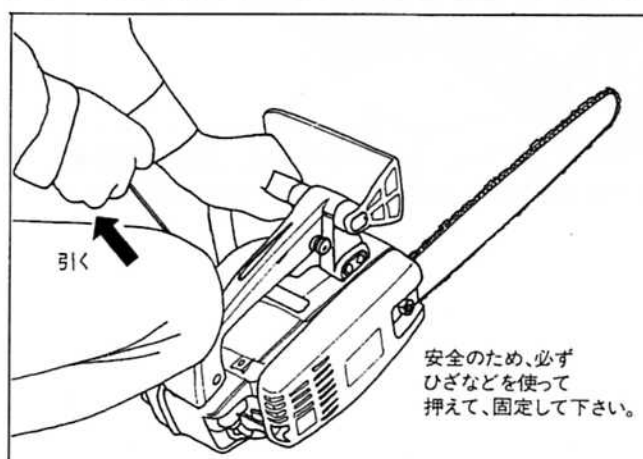
- 次にリコイルスタータノブを引きます。チェーンソーがすべらないように、手足でしっかり押えて周囲の安全を確かめてから引いて下さい。
- リコイルスタータノブを勢いよく数回引いて爆発音がしたら、チョークを開（チョークノブを押し込む）にして、再度勢いよく引くとエンジンは始動します。

注意

- エンジンが始動したら、スロットルレバーを引いて下さい。スロットルロックつまみが外れ、エンジンは低速回転になります。（スロットルレバーをロックして始動したときは同時にソーチェンも回りはじめますので充分ご注意下さい。）
- 始動したら、2～3分間低速運転をし、エンジンを暖めます。

注意

- ソーチェンが地面や材木に触れたまま始動すると大変危険です。



■運転と停止

●運 転

- 低速運転の後、スロットルレバーを徐々に引き、エンジン回転を上げてゆきます。
- 回転数が4,000回転/分以上になるとクラッチがつながり、ソーチェンが回りはじめます。

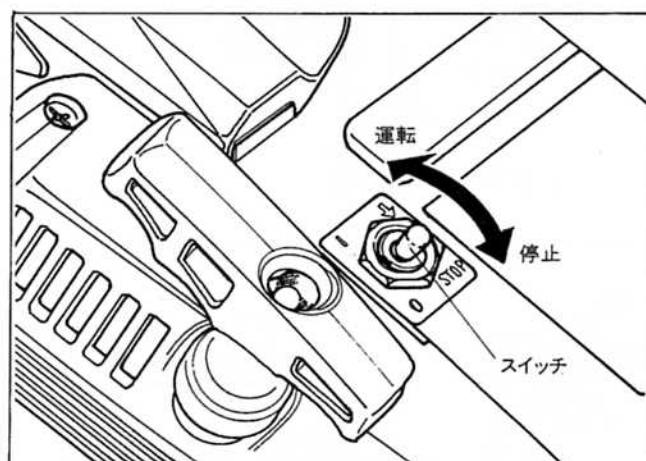
注意

- チェンオイルなしで使用しないで下さい。ソーチェンやガイドバー損傷の原因となります。
- ソーチェンが回転するとガイドバー先端より、若干チェンオイルが飛散します。

●停 止

- スイッチを停止の位置(0の表示)にするとエンジンは停止します。

スロットルロックボタンはエンジンの始動時にのみ使して下さい。
スロットルレバーをロックしたままチェーンソーを使用しないで下さい。



正しい操作法

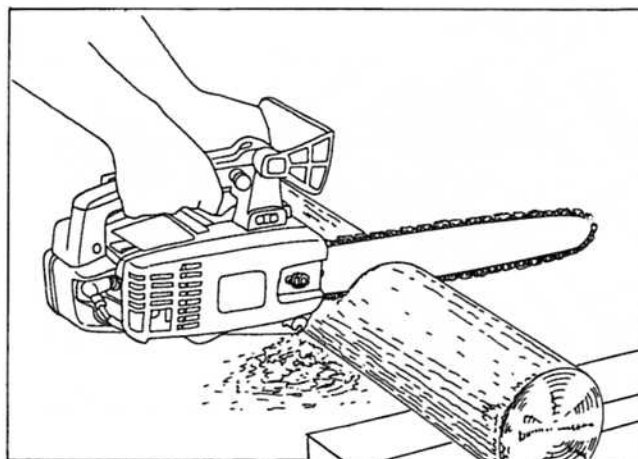
安全な服装・よく整備された機械

■基本的な作業

- ハンドルは両手でしっかり握り、両足を開いて身体の安定を保ちます。(足場はしっかりと固めて下さい。)
- スロットルレバーを全開にし、木に軽く押しあて、高速回転で切るようにします。
- チェンソーを前後に動かす必要はありません。

注意

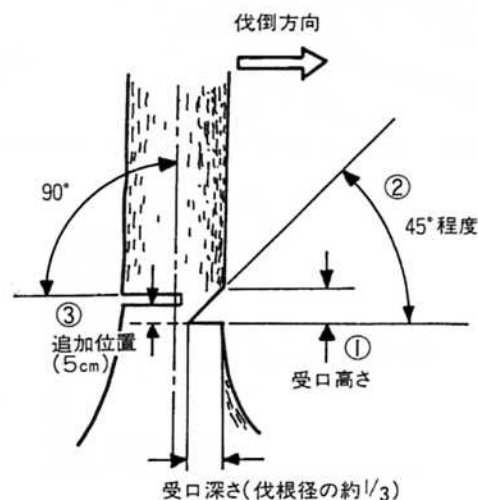
- 回っているソーチェーンには、手はもちろんのこと衣服などを近づけてはいけません。
- 周囲の人や障害物には十分注意して、作業している場所から遠ざけて下さい。
- 二台以上で作業するときは、安全な距離をおいて作業しましょう。
- チェンオイルの吐出状態も確認します。むやみに高速で空運転を続けることは禁物です。
- ガイドバーの先端で切ると、はね返ること(キックバック)がありますのでして下さい。
- スパイク部分を使い、テコのように上下に先端を動かして切り込むようにして下さい。
- 作業中に木に挟まれた場合等、クラッチを滑べらせた状態(ストール状態)で長く(10秒以内が目安です)運転しないで下さい。クラッチを長く滑べらせるとクラッチの損傷を招きます。



- 切断の際は、ガイドバーの根元(スパイク)を加工材にあてて切断して下さい。

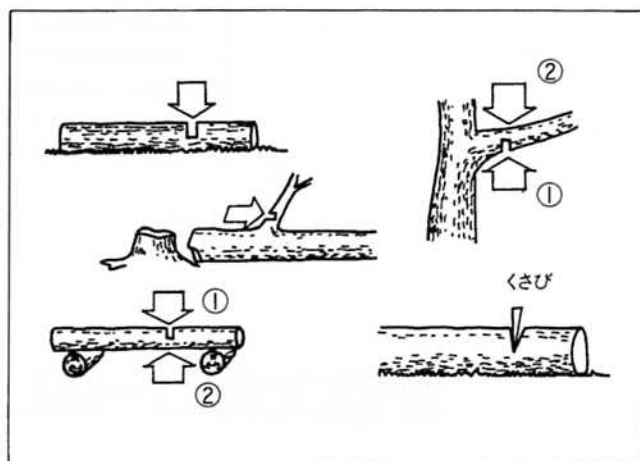
■仗 木

- まず、木を倒す方向をきめます。
- 倒す方向が決ったら周囲の障害物を取り除き足場をつくります。
- 木を倒す方に“受口”を切り込み(① ②)次に受口の反対側から“追口”(③)を切り込んでゆきます。(それぞれの位置関係は図を参照して下さい。)



■造 材 (玉切り、枝払い)

- 造材(玉切り)のときは材の安定に注意して下さい。
- 材はなるべく地面からはなして確実に支え、足元に注意して切ります。
- 切断する加工材の重さで、ガイドバーが圧迫され、チェンソーの操作に支障の出ないように右図の手順で切して下さい。
- この説明書の初めの“安全に注意して、正しくご使用いただくために……”をよくお読み下さい。



点検と整備

■エアクリーナ

- クリーナカバー上部のノブをまわしてゆるめ、クリーナカバーを外し、エアクリーナとエレメントの汚れを点検します。軽くゴミを払うか、汚れのひどいときはガソリンで洗い、乾かしてから使用します。

■キャブレタ

- 出荷時に燃料調整がされていますので、不必要に針弁を動かさないで下さい。

注意 キャブ調整 $LH 1/4 \pm 1/4$

- キャブレタの不調のときは、お買い求めの販売店へご相談されることをおすすめします。

■ガイドバーの溝とチェンオイル吐出口

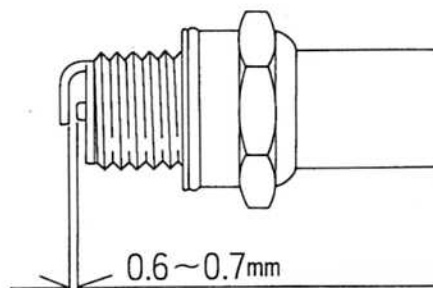
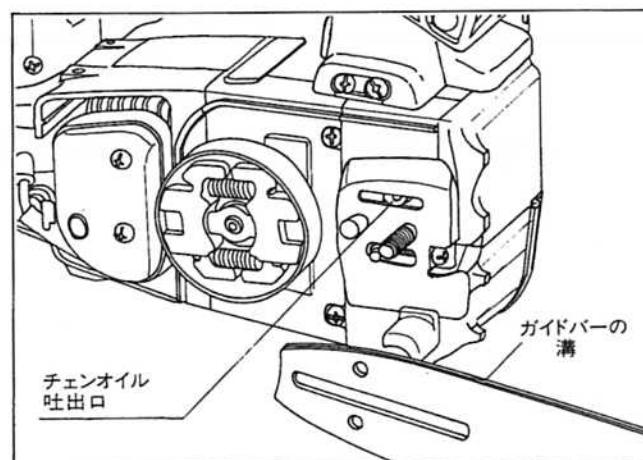
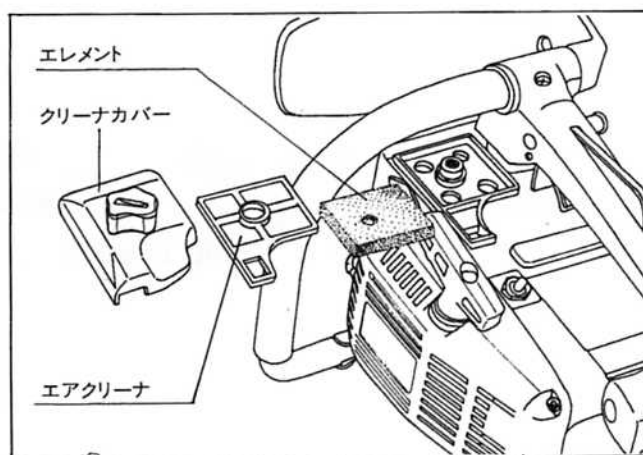
- チェンオイルの吐出口と、ガイドバーの溝はいつもきれいにして、順調な作業ができるようにします。
ガイドバーは時々上下を反転してご使用下さい。

■シリンダフィンとリコイルケース

- シリンダフィンとリコイルケースの空気取入口はエンジンの冷却効果を高めるため、いつもきれいにしておくように心がけて下さい。

■スパークプラグ

- スパークプラグの電極間隙は0.6~0.7mmです。常に適正な間隙を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して清掃の上ご使用下さい。電極が極端に汚れたものや変形のいちじるしいものは、新品に交換して下さい。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービパワーツール取扱販売店もしくは最寄りのリョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社